

(市内・市外在住者含む)

若年者歯科健診(長崎県立大学)

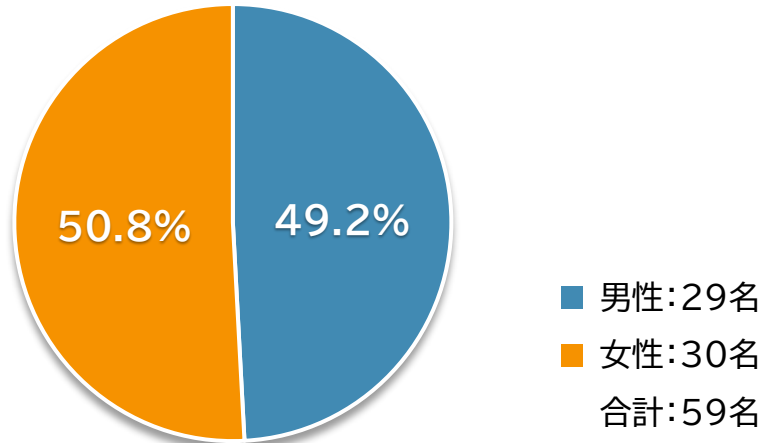
事後アンケート結果

(アンケート実施期間:令和7年7月7日(月)～7月25日(金)まで)

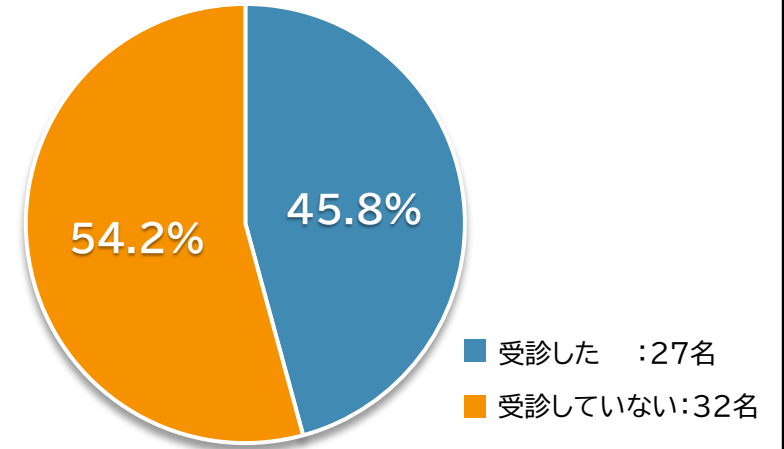
令和7年4月2日(火)、3日(水)実施
場所:長崎県立大学佐世保校 体育館

アンケート結果① R7若年者歯科健診事後アンケート回答者数、歯科受診率

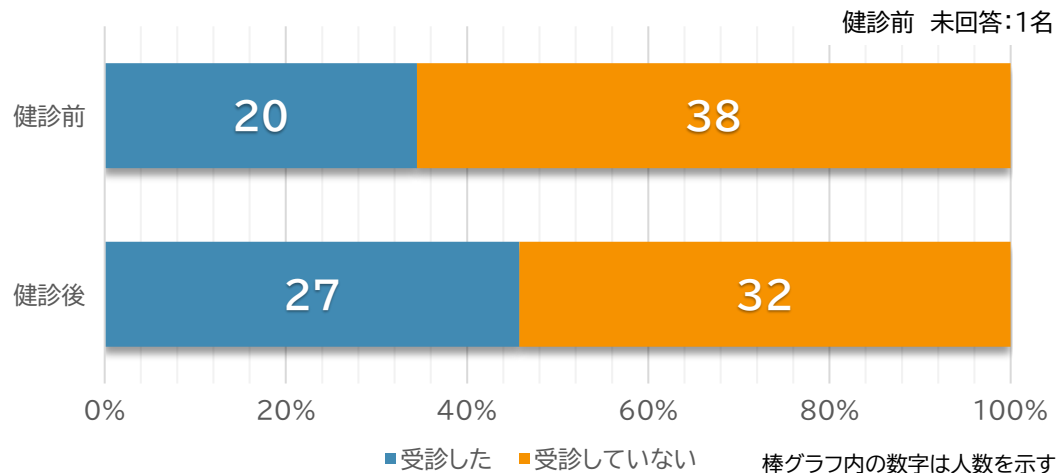
R7若年者歯科健診 事後アンケート回答者



R7若年者歯科健診後に歯科を受診した人の割合:



R7若年者歯科健診前後の歯科受診率の推移

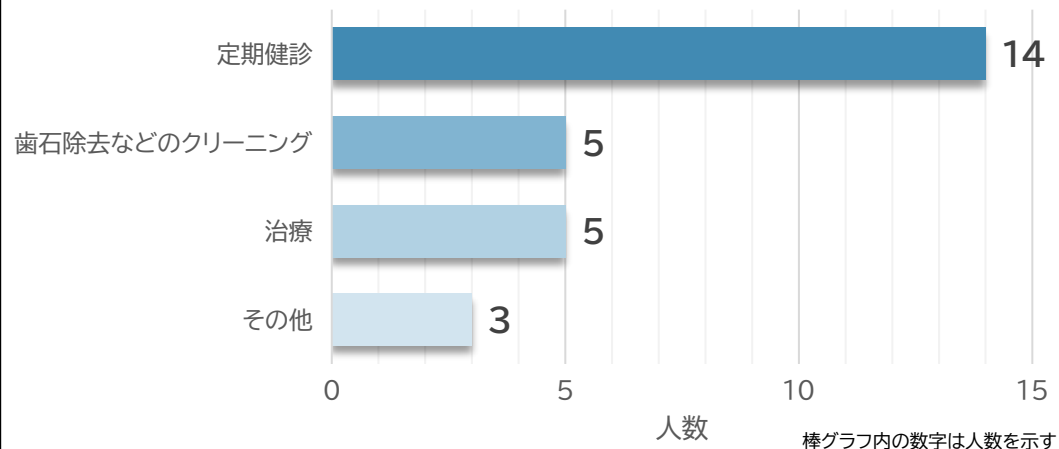


【アンケート結果①】

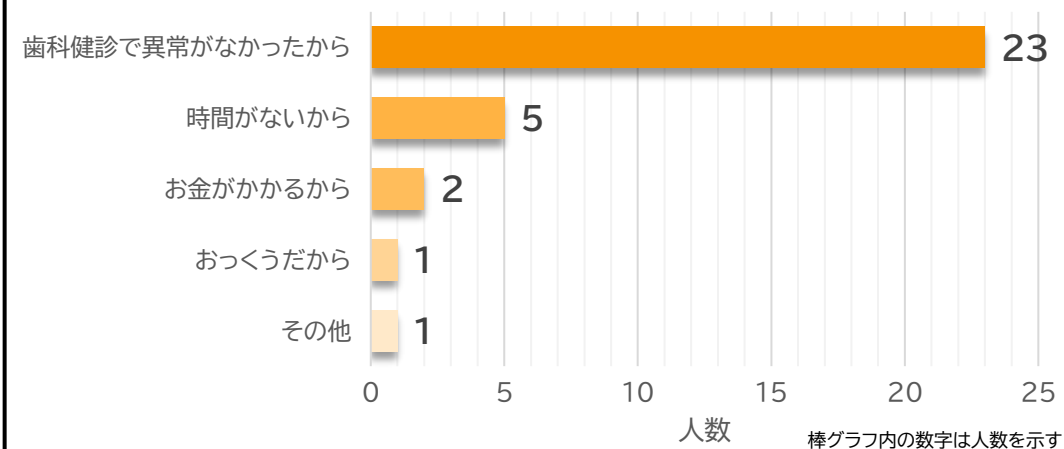
- ・若年者歯科健診後に実施された事後アンケートの回答者数は健診受診者374名のうち、59名(15.8%)であった。
 - ・事後アンケート回答者のうち、健診後に歯科医院を受診した人は27名(45.8%)であった。
- 健診前後の歯科受診率の推移を見ると、健診前では20名(34.5%)であり、健診後に受診率は増加している。

アンケート結果② R7若年者歯科健診後の歯科受診理由

歯科健診後に歯科を受診した理由:27名



歯科健診後に歯科を受診しなかった理由:32名

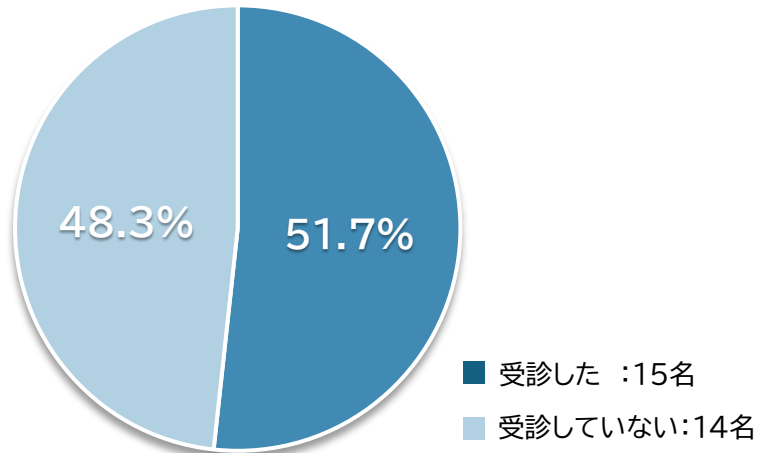


【アンケート結果②】

・歯科を受診した理由は「定期健診」が、受診しなかった理由は「歯科健診で異常がなかったから」が最も多かった。
健診結果を踏まえて歯科疾患の予防に対する意識を持つようになった人がいる一方、「異常が無いから急いで行く必要がない」と考える人も一定数いるのではないか、と考えられる。

アンケート結果③ R7若年者歯科健診後の歯科受診状況(男性)

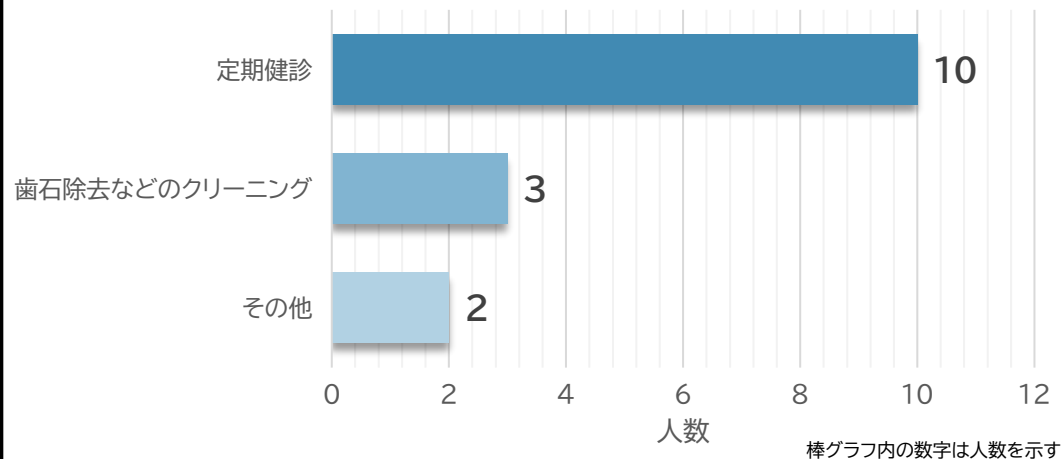
R7若年者歯科健診後の歯科受診状況(男性):29名



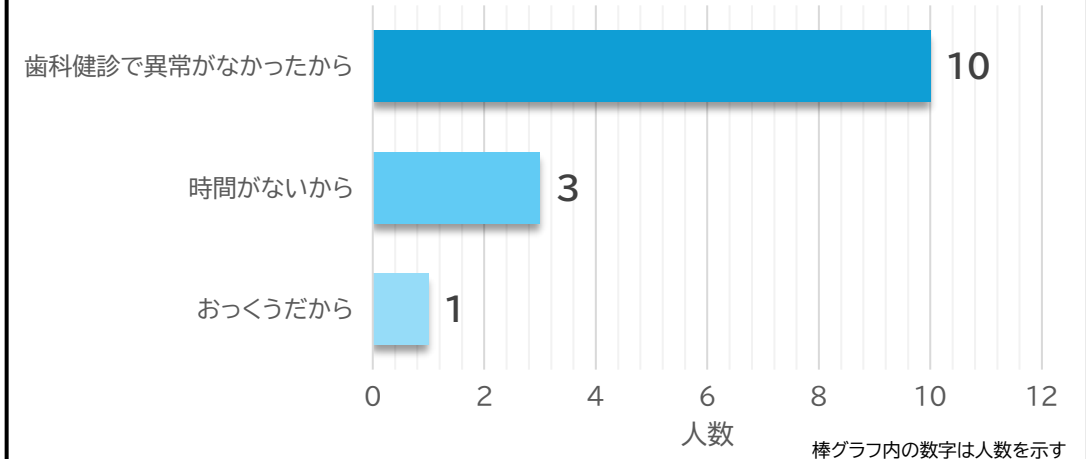
【アンケート結果③】

- ・健診後の歯科受診状況(男性)は、受診した人が15名(51.7%)、受診していない人が14名(48.3%)と半々であった。
- ・歯科を受診した理由は「定期健診」が、受診しなかった理由は「歯科健診で異常がなかったから」が最も多かった。

歯科健診後に歯科を受診した理由(男性):15名

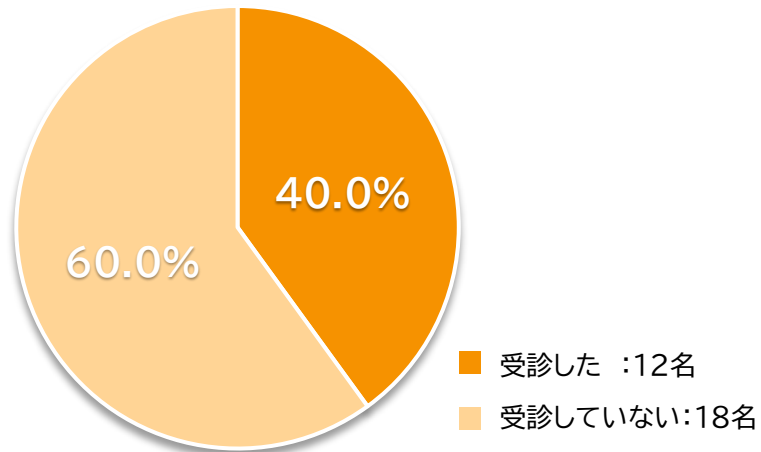


歯科受診後に歯科を受診しなかった理由(男性):14名



アンケート結果④ R7若年者歯科健診後の歯科受診状況(女性)

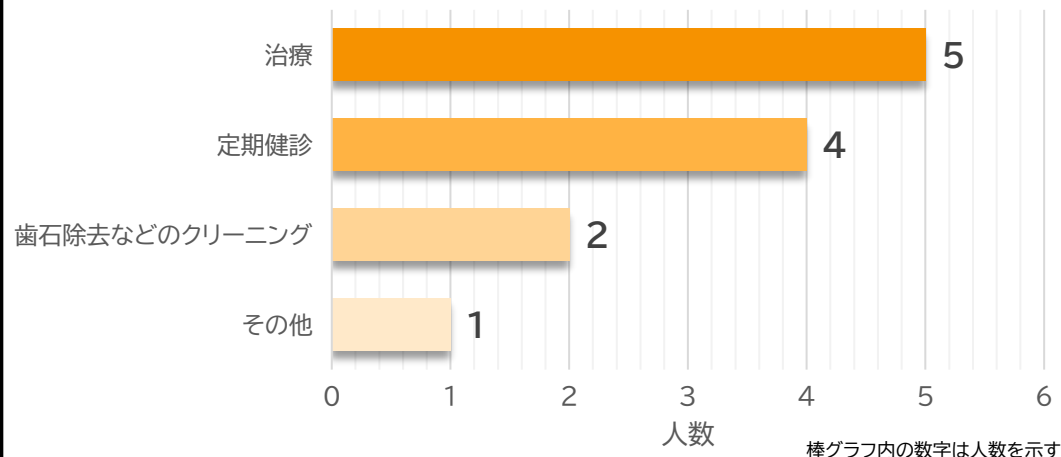
R7若年者歯科健診後の歯科受診状況(女性):30名



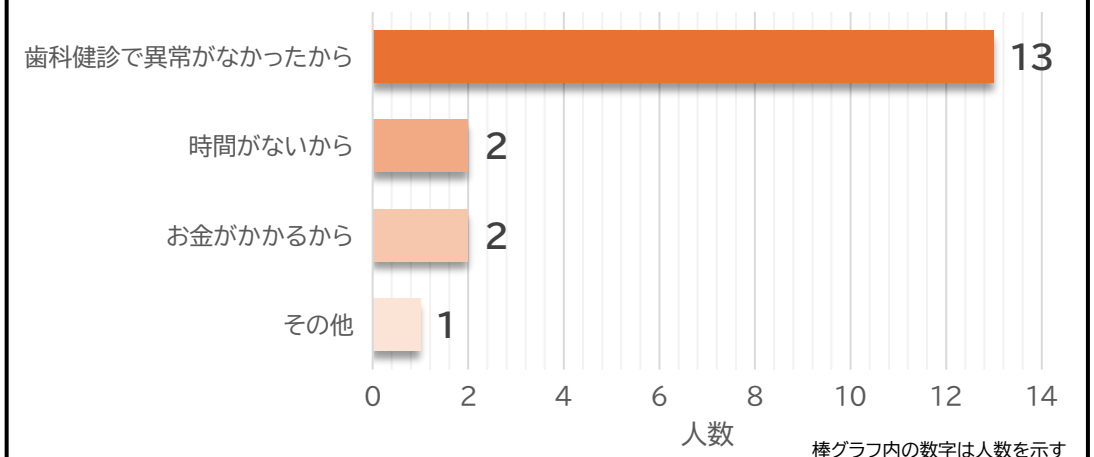
【アンケート結果④】

- ・健診後の歯科受診状況(女性)は、受診した人が12名(40.0%)、受診していない人が18名(60.0%)であり、受診していない人の割合が多かった。
- ・歯科を受診した理由は「治療」が、受診しなかった理由は「歯科健診で異常がなかったから」が最も多かった。

歯科健診後に歯科を受診した理由(女性):12名

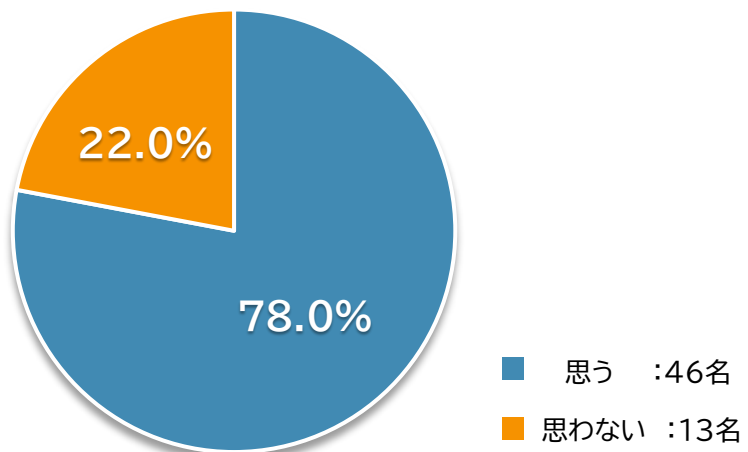


歯科健診後に歯科を受診しなかった理由(女性):18名



アンケート結果⑤ 今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか

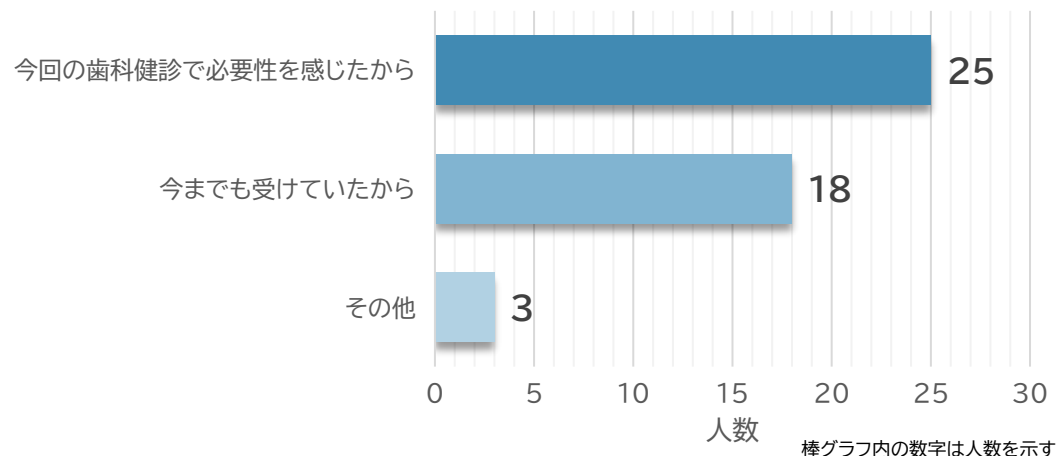
今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか:59名



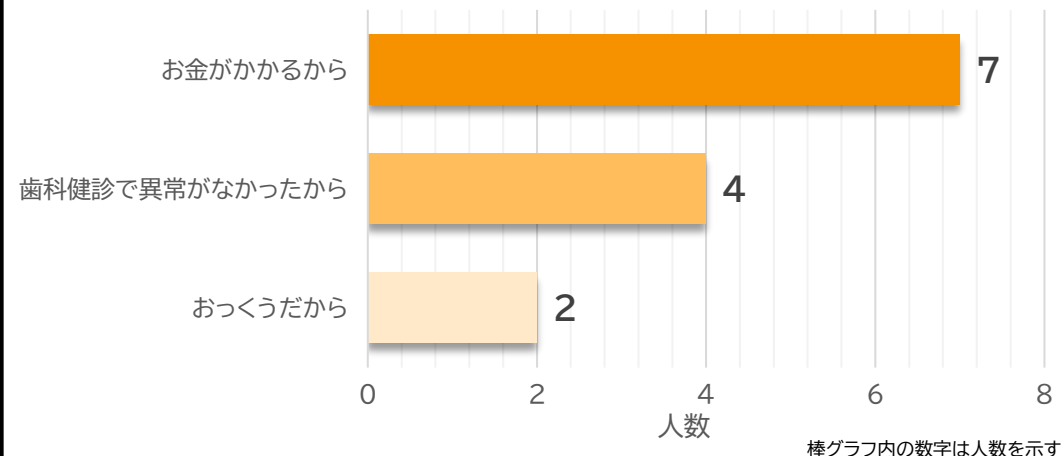
【アンケート結果⑤】

- ・今後、定期的に歯科健診を受診しようと思う人は46名(78.0%)、思わない人は13名(22.0%)であった。
- ・受診しようと思った理由は「今回の歯科健診で必要性を感じたから」が、思わなかった理由は「お金がかかるから」が最も多かった。今回の健診により継続的な受診の必要性を伝えられた一方、今回は長崎県立大学の学生19～23歳が対象であり、必要性を感じたとしても金銭面から継続的に歯科に通うことが困難な場合があると考えられる。

定期的に歯科健診を受診しようと思った理由:46名

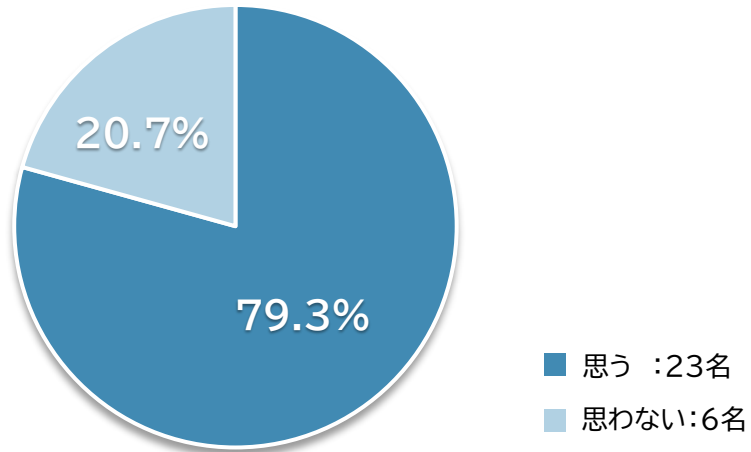


定期的に歯科健診を受診しようと思わない理由:13名



アンケート結果⑥ 今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか(男性)

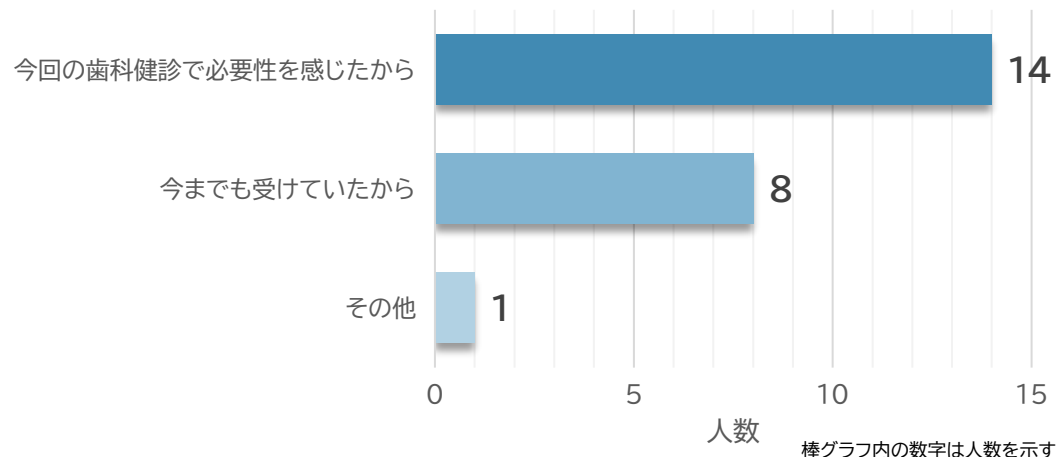
今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか:29名



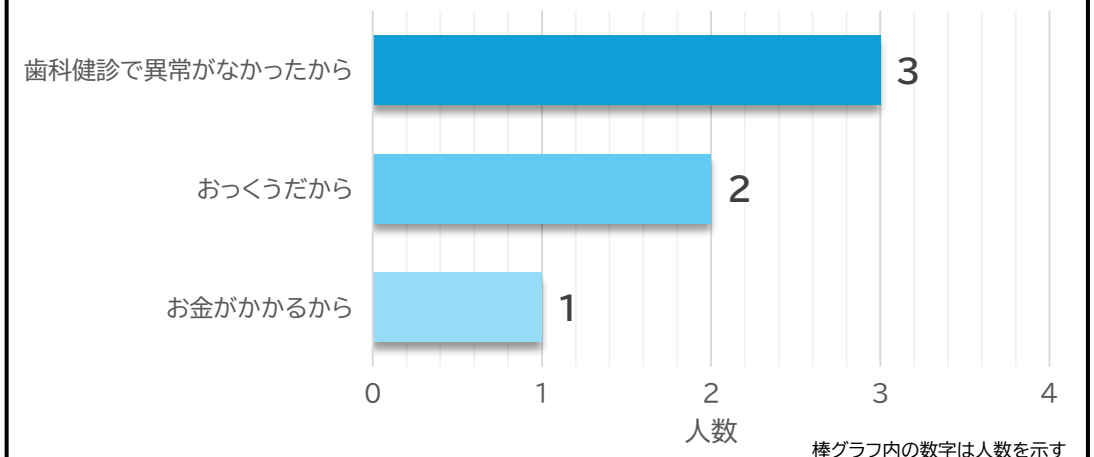
【アンケート結果⑥】

- ・男性のうち、今後、定期的に歯科健診を受診しようと思う人は23名(79.3%)、思わない人は6名(20.7%)であった。
- ・受診しようと思った理由は「今回の歯科健診で必要性を感じたから」が、思わなかった理由は「歯科健診で異常がなかったから」が最も多かった。男性回答者の中には治療が必要であれば受診するが、継続的な健診には興味が無い、または面倒だと思う人も存在すると思われる。

定期的に歯科健診を受診しようと思った理由:23名

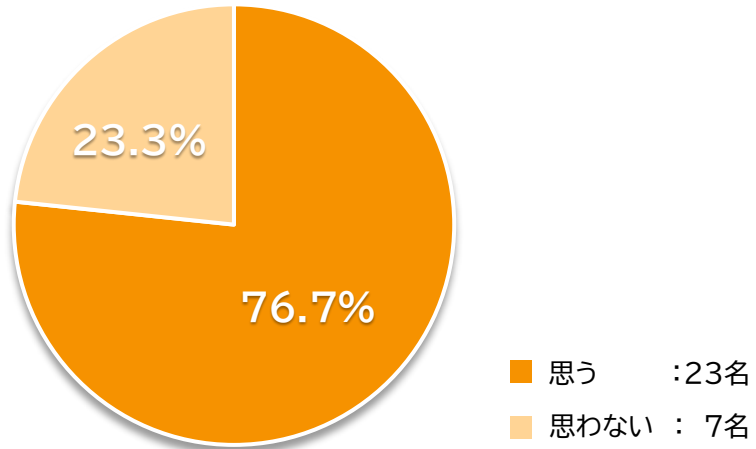


定期的に歯科健診を受診しようと思わない理由:6名



アンケート結果⑦ 今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか(女性)

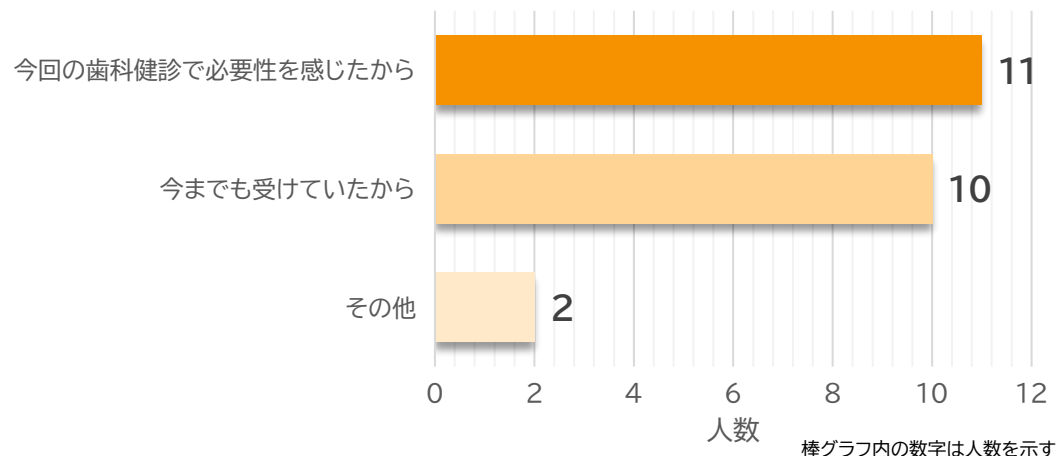
今後、定期的に歯科健診を受診しようと思うか:30名



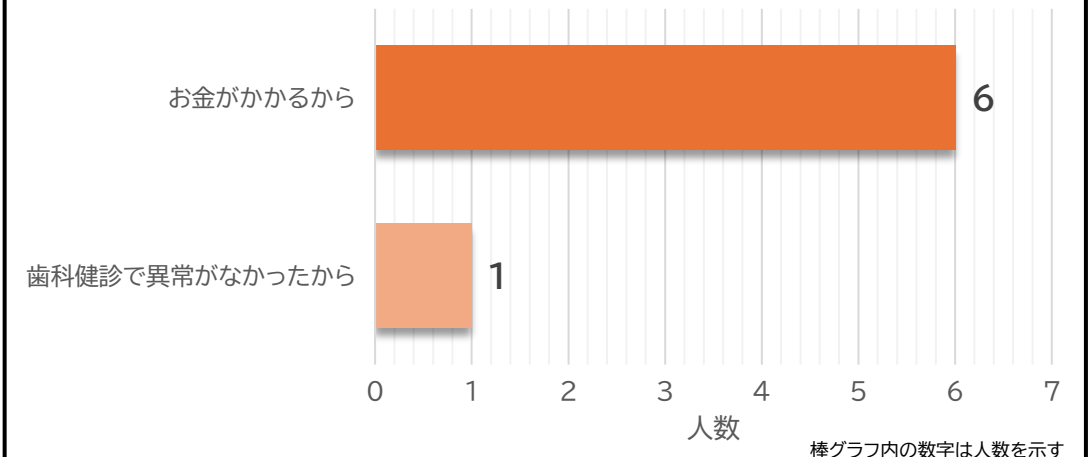
【アンケート結果⑦】

- ・女性のうち、今後、定期的に歯科健診を受診しようと思う人は23名(76.7%)、思わない人は7名(23.3%)であった。
- ・受診しようと思った理由は「今回の歯科健診で必要性を感じたから」が、思わなかった理由は「お金がかかるから」が最も多かった。
金銭面を理由に受診しないと答えた割合は女性の方が多く、
歯科への意識が高いとしても、そこにけるお金が無いという人が一定数存在すると考えられる。

定期的に歯科健診を受診しようと思った理由:23名

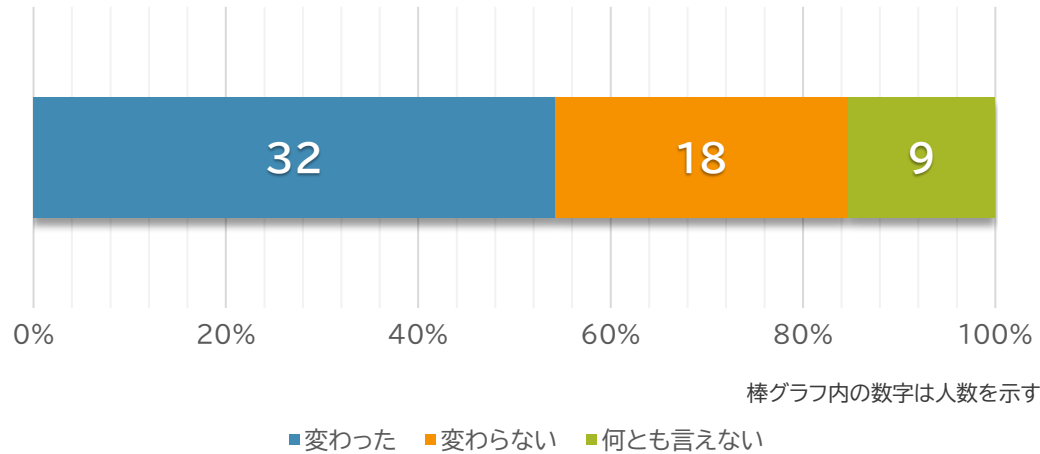


定期的に歯科健診を受診しようと思わない理由:7名

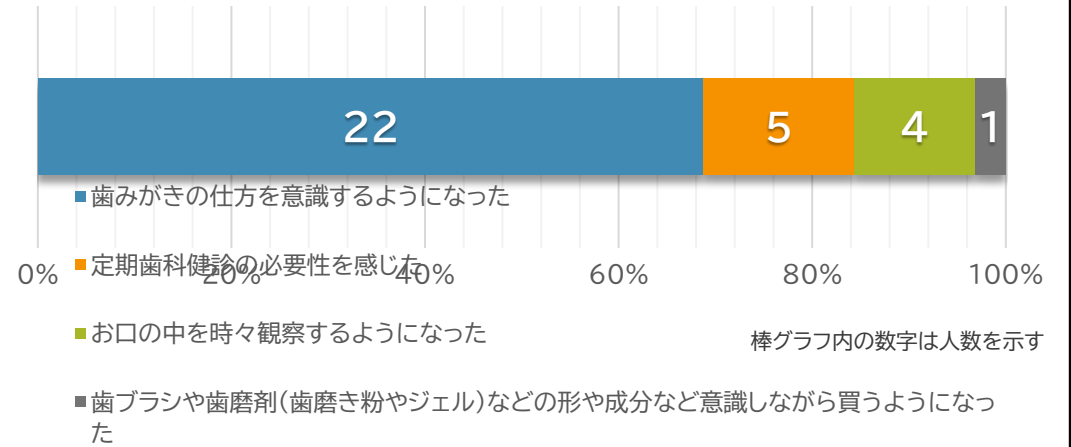


アンケート結果⑨ R7若年者歯科健診後の意識の変化

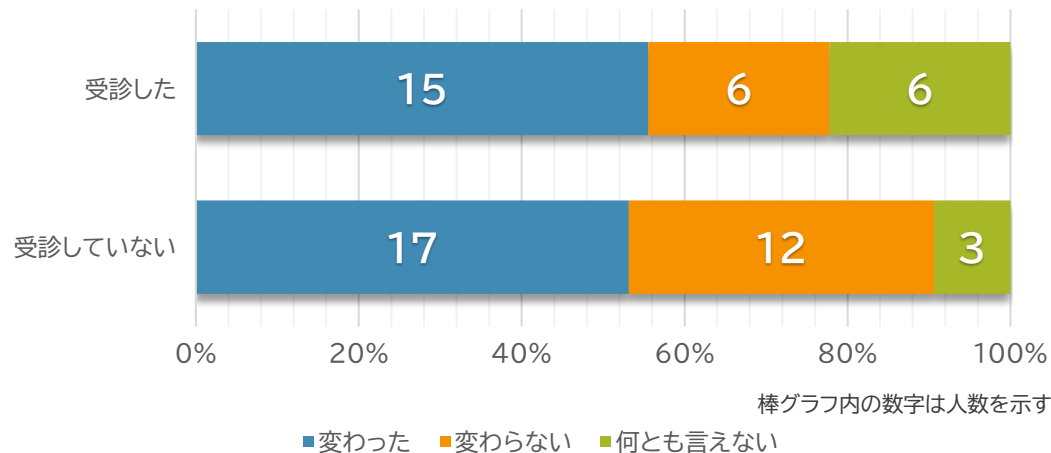
R7若年者歯科健診・指導後の意識の変化



「変わった」と回答した32名の意識の変化内容



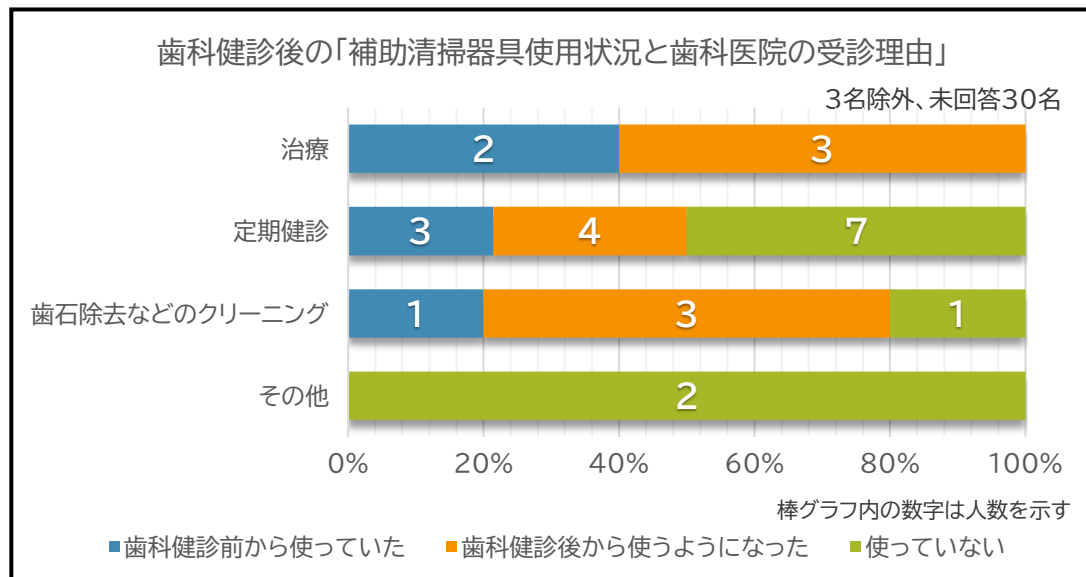
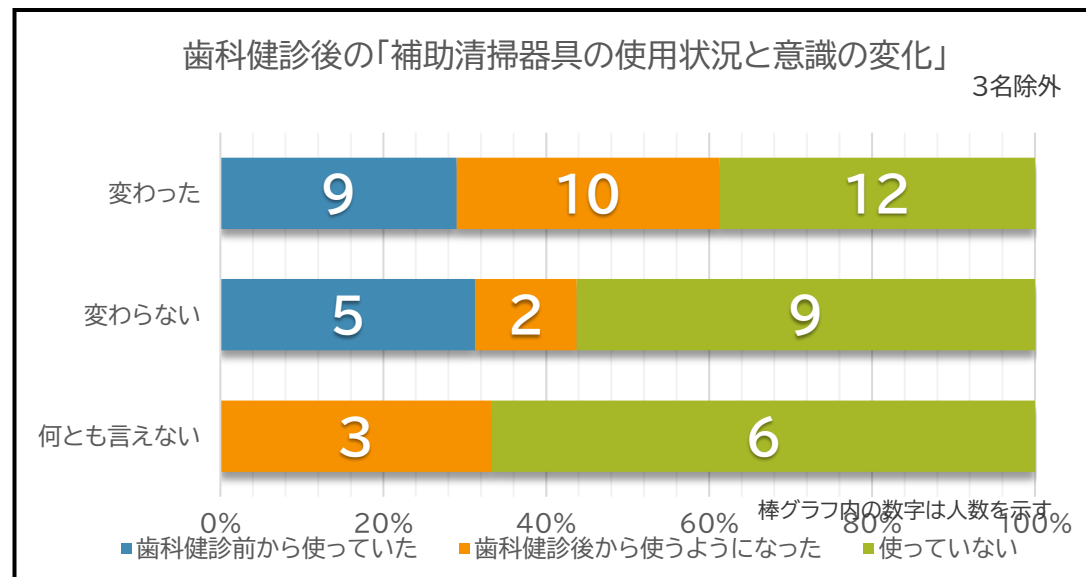
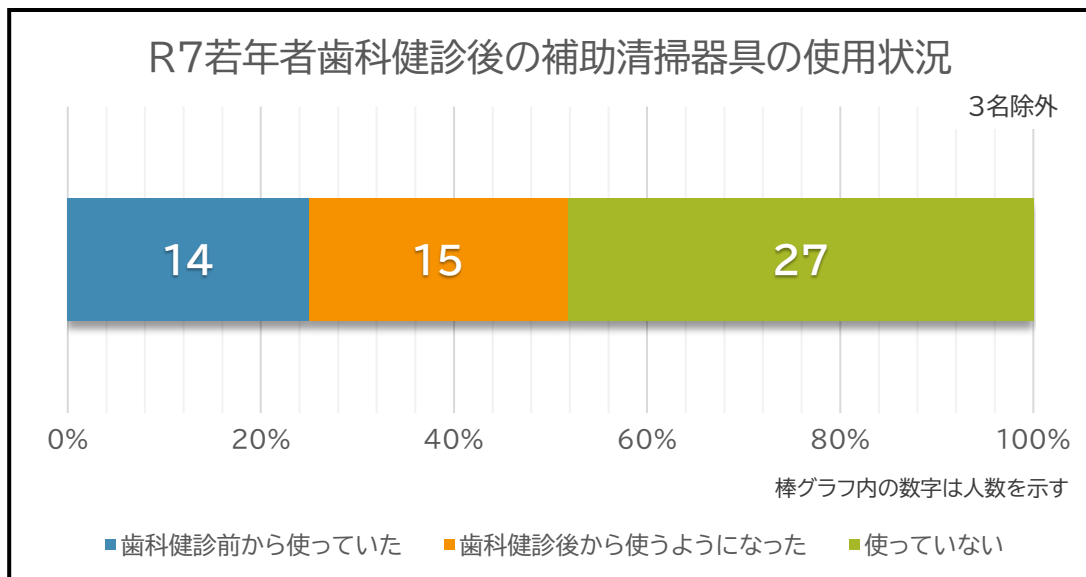
意識の変化とその後の歯科受診状況



【アンケート結果⑨】

- ・歯科健診後の意識の変化について、「変わった」と回答した人は32名(54.2%)と、アンケート回答者の約半数であった。
具体的な変化内容としては「歯磨きの仕方を意識するようになった」が22名(68.6%)であった。
- ・意識の変化内容やその後の歯科受診状況の結果より、継続的な歯科受診および健診への意識付けについてまだまだ課題が残る。

アンケート結果⑩ R7若年者歯科健診後の補助清掃用具の使用状況



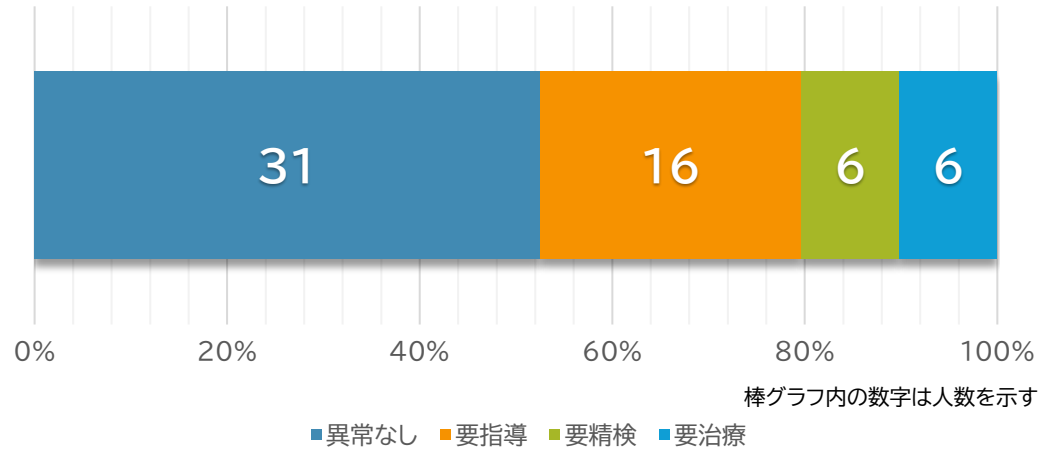
【アンケート結果⑩】

- ・補助清掃器具の使用について、「歯科健診前から使っていた」「歯科健診後から使うようになった」が合わせて29名(51.8%)、「使っていない」が27名(48.2%)と、ほぼ半々であった。
- ・意識の変化について注目すると、「歯科健診後から使うようになった」15名のうち10名(66.7%)が意識の変化を実感している。「使っていない」27名でも12名(44.4%)で変化があったという結果から、継続的な歯科健診や指導によってセルフケアのモチベーションを上げることが可能であると考えられる。

健診結果と事後アンケート結果からみた状況

① 歯科健診結果

事後アンケート回答者の歯科健診結果

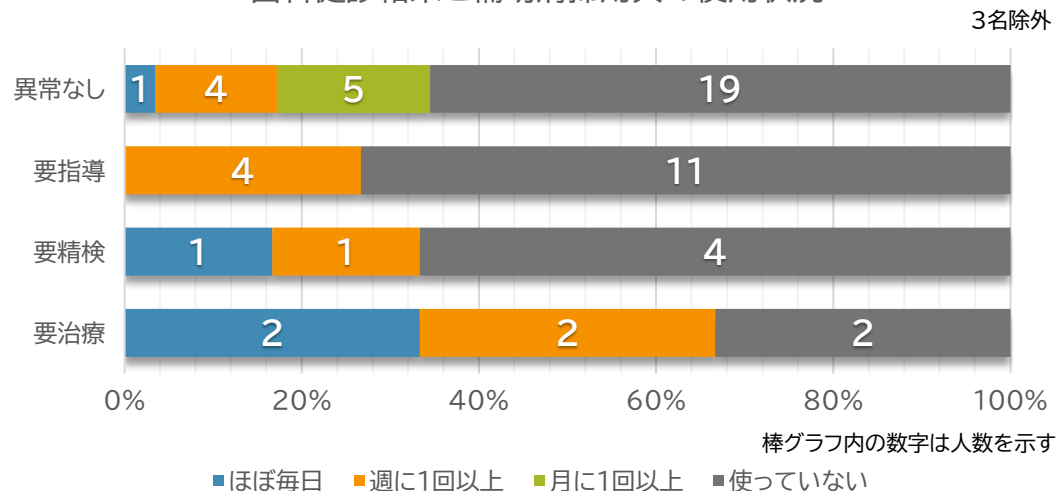


・事後アンケート回答者59名の歯科健診結果の内訳は、
「異常なし」が31名(52.5%)、「要指導」が16名(27.1%)、
「要精検」「要治療」がそれぞれ6名(10.2%)となっている。

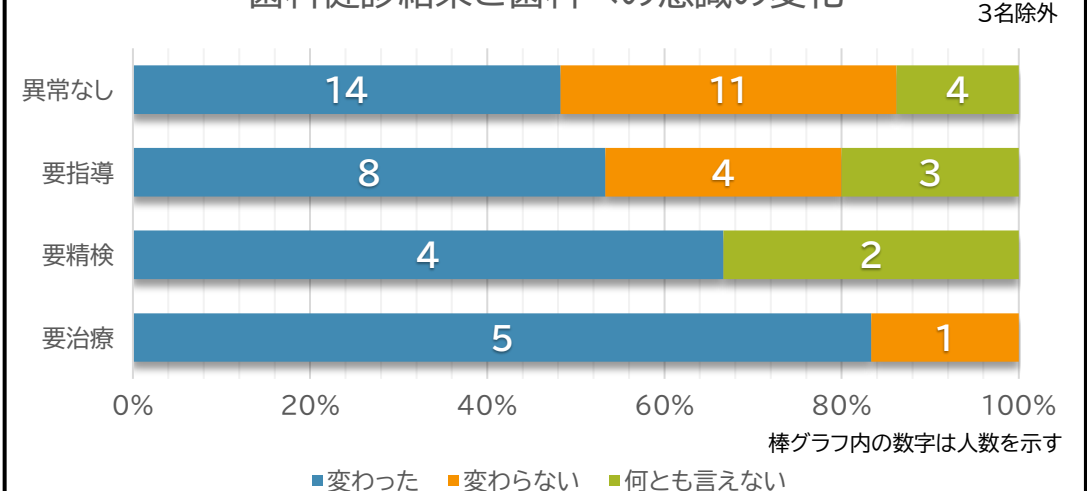
・歯科健診後の意識の変化について、「意識が変わった」と回答した割合は、
ほぼ全てのグループで50%を超えた。

意識の変化から、今後の定期的な歯科受診や日々のセルフケア(補助清掃器具の使用など)の結果も変わることを期待したい。

歯科健診結果と補助清掃用具の使用状況

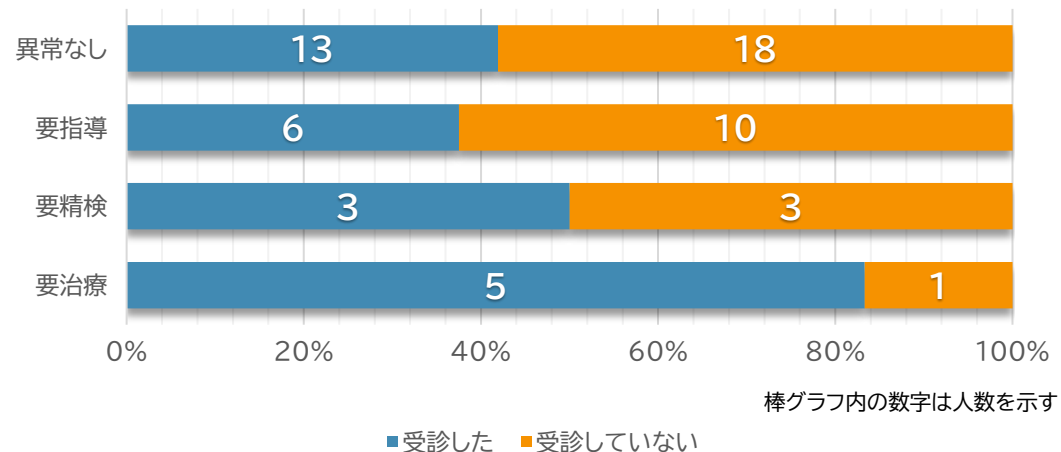


歯科健診結果と歯科への意識の変化



アンケート結果② 歯科健診結果とその後の歯科受診状況

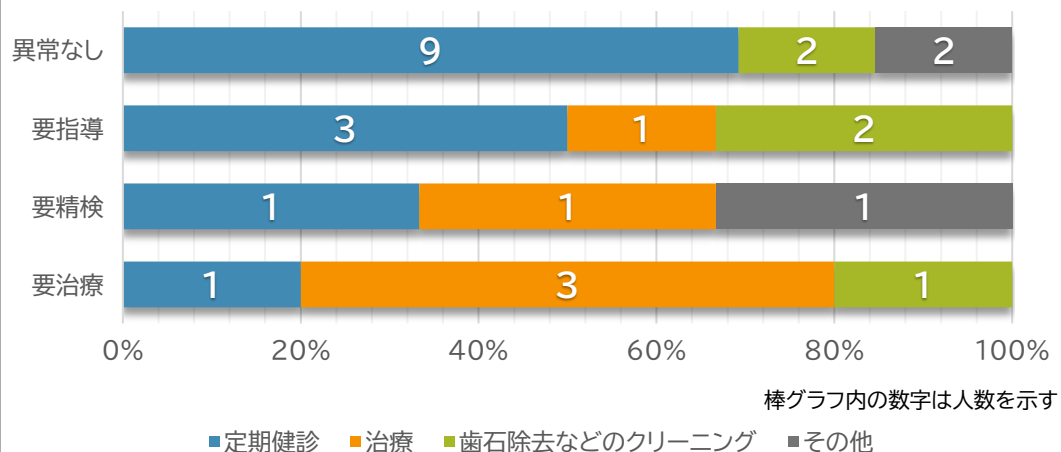
歯科健診結果とその後の歯科医院受診状況



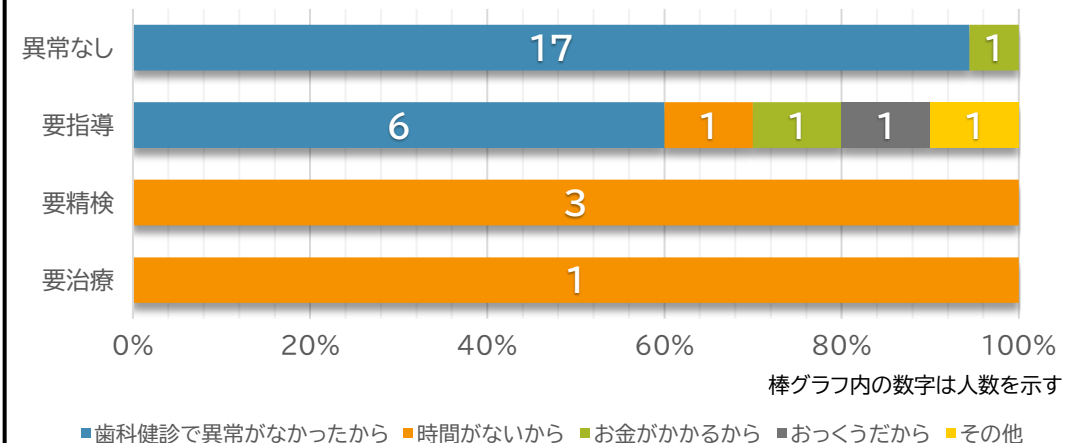
・歯科健診後の歯科受診状況をみると、「異常なし」「要指導」で受診した人は50%を下回っており、歯科医院を受診しなかった理由のうち「歯科健診で異常が無かったから」が両グループとも多かった。

・「異常がない、今は症状が出ていない＝受診しない」のではなく、齲蝕や歯周病の発症および進行を防ぐために定期的に歯科を受診することの重要性を伝えていく必要がある。

歯科健診結果とその後歯科医院を受診した理由

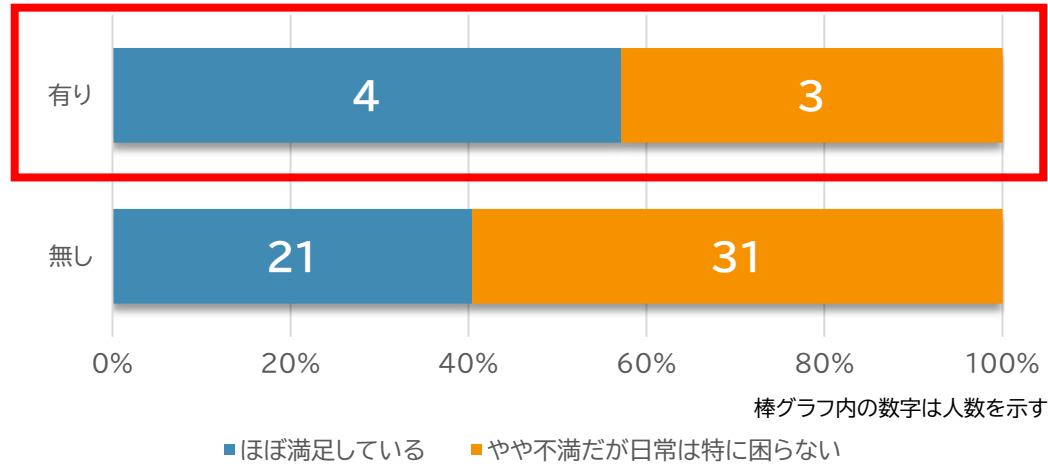


歯科健診結果とその後歯科医院を受診しなかった理由

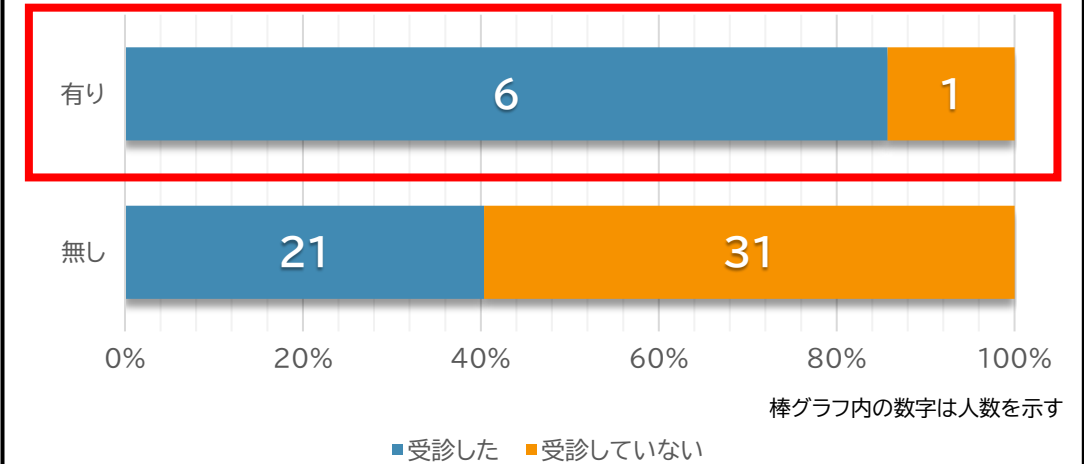


④ 歯科健診時のお口の状況と歯科受診について(未処置歯の有無)

歯科健診時の未処置歯の有無とお口の状況

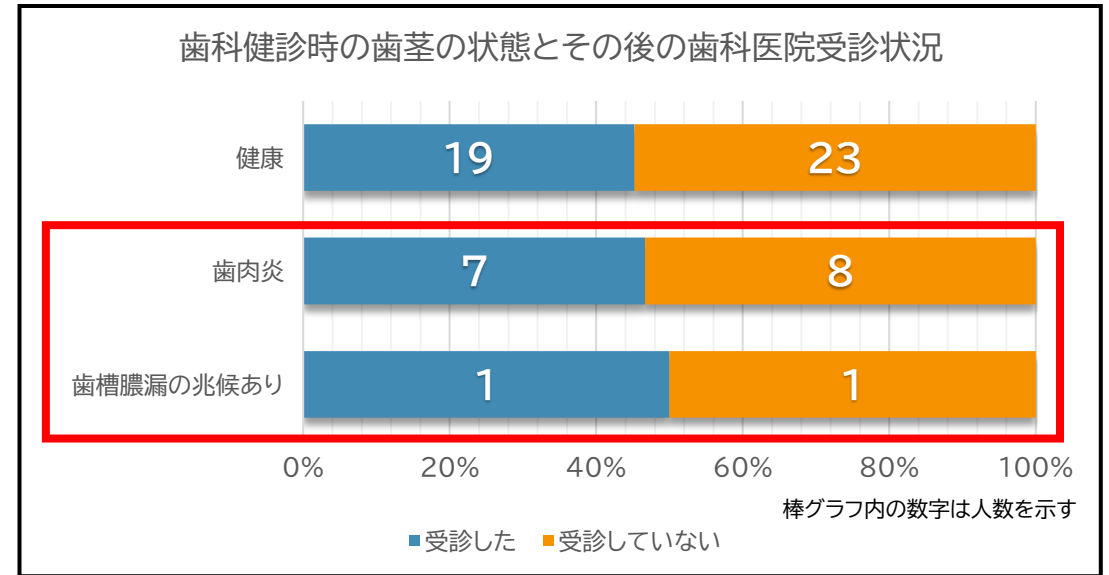
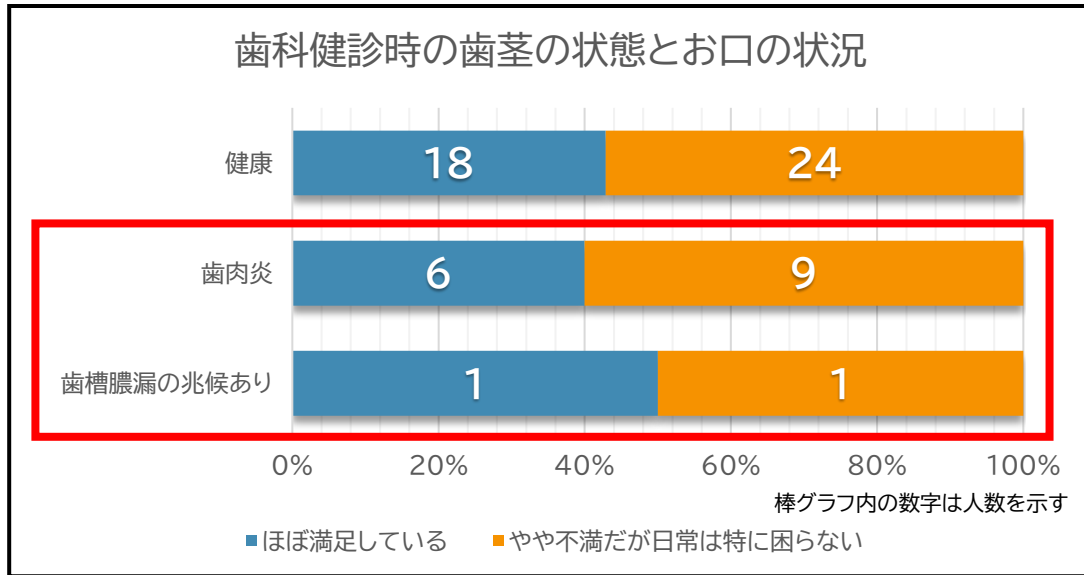


歯科健診時の未処置歯の有無とその後の歯科医院受診状況



- ・令和7年度若年者歯科健診の結果から、健診受診者の齲蝕罹患率は13.6%であり、事後アンケート回答者の齲蝕罹患患者数/非罹患患者数に差が出ている。
- ・歯科健診にて未処置歯ありの7名のうち、健診後に歯科医院を受診したのは6名(85.7%)であった。
- ・齲蝕は歯周病などといった歯科疾患と比べて「放置するとしみたり痛みが出る」と症状がイメージしやすく、治療の必要性が伝わりやすいことから高い受診率に繋がったのではないかと考える。

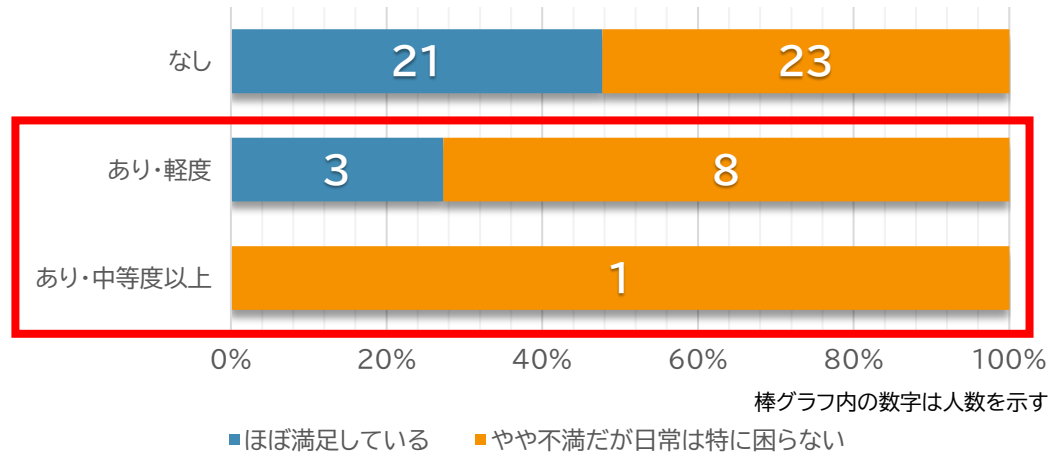
⑤ お口の状況、歯科受診について(歯周病)



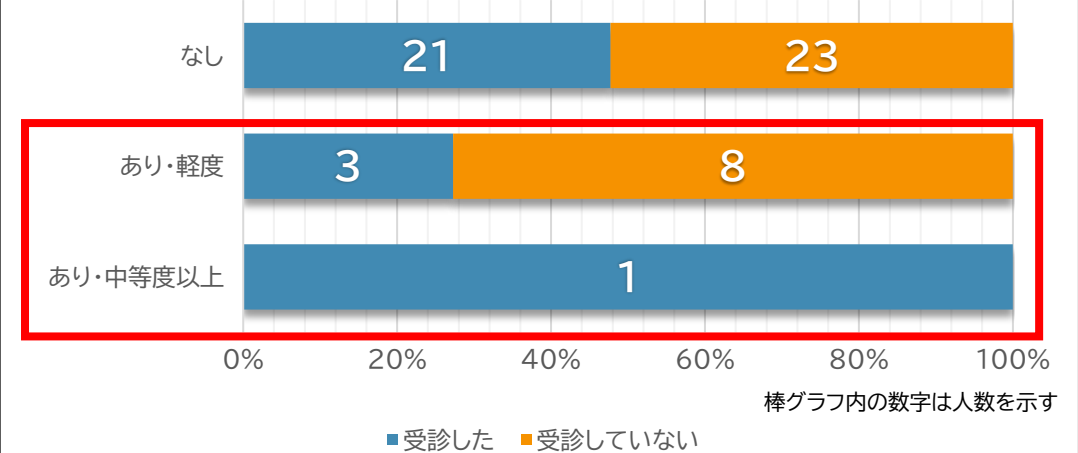
- ・令和7年度若年者歯科健診の結果から、健診受診者の歯周病（歯肉炎、歯周炎）罹患率は35.5%であったことから、事後アンケート回答者の歯周病罹患患者数/非罹患患者数に差が出ている。
- ・歯科健診にて「歯肉炎」「歯槽膿漏（歯周炎）の兆候あり」を合わせた17名のうち、健診後に歯科医院を受診したのは8名（47.1%）と、ほぼ半数であった。

⑥ お口の状態、歯科受診について(歯石)

歯科受診時の歯石の付着状況とお口の状況



歯科健診時の歯石の付着状況とその後の歯科医院受診状況



・歯科健診にて「歯石あり・軽度」「歯石あり・中等度以上」を合わせた
12名のうち、健診後に歯科医院を受診したのは4名(33.3%)とであった。

- ① 歯石があることで更に歯垢が溜まり、歯周病原因菌が増殖するリスクが高まる可能性がある
 - ② 歯石は普段の歯磨きでは除去出来ない
 - ③ 歯石を除去するには歯科医院での専門的な清掃が必要である
- といった点を伝え、定期的な歯科医院での健診および専門的な清掃の重要性を知ってもらう必要がある。